



Mercedes-Benz

Press Information

2024年3月22日

メルセデス・ベンツのクロスオーバーモデル

新型「E 220 d 4MATIC All-Terrain (ISG 搭載モデル^{*1})」を発売

オールテレイン

- ・ SUVとステーションワゴンの実用性を併せ持つクロスオーバーモデル
- ・ 新型Eクラス唯一の四輪駆動クリーンディーゼルモデル
- ・ 助手席一体型のディスプレイ「MBUXスーパースクリーン」を設定^{*2}
- ・ サードパーティ製アプリをインストールし利用可能
- ・ トランスペアレントボンネットを標準装備

*1: ISGはIntegrated Starter Generatorの略称で、マイルドハイブリッドシステム

*2: オプション設定

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: 上野金太郎、本社: 千葉県千葉市)は、メルセデス・ベンツの中核モデル新型 E クラスにクロスオーバーモデルの「E 220 d 4MATIC All-Terrain (ISG 搭載モデル)」(以下、E 220 d オールテレイン)を追加し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

メルセデス・ベンツEクラスは、世界で累計1,600万台以上の販売台数を誇るメルセデス・ベンツの中核をなすモデルであり、1946年に発表されたW136型以来、常に時代に先駆けて革新的な技術を採用し、世界のプレミアムセダンの指標とされてきました。新型Eクラスは、パワートレインを全てのモデルで電動化^{*3}するとともに、ナツパレゾーで仕立てた高級感のある内装^{*4}に加え、センターディスプレイと助手席ディスプレイを一体型にしたMBUXスーパースクリーン^{*4}、サードパーティ製のアプリケーションも使うことができる最新世代のMBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)など、機能性と快適性を大きく向上し、デザインを一新して生まれ変わりました。

*3: 電動化モデルは、プラグインハイブリッド車およびISG(48Vマイルドハイブリッド)採用車を含みます。

*4: 全モデルにオプション設定

エクステリアデザイン

E 220 d オールテレインは、SUV譲りのデザインや機能、ステーションワゴンの実用性を兼ね備えたクロスオーバーモデルです。四輪駆動システム「4MATIC」など、SUV開発の歴史の中で蓄積したオフロード技術を採用し、オールラウンドな走行性能を備えています。また、新型Eクラス唯一の四輪駆動クリーンディーゼルモデルです。

E 220 d 4MATIC オールテレインは、新型Eクラスの伝統と先進性を融合したメルセデス・ベンツの最新デザインを取り入れたエクステリアに、メルセデスのSUVモデルに共通する2本のフィンをあしらったラジエーターグリルをはじめ、前後バンパー下部のシルバークロームアンダーライドガードやブラックのホイールアーチカバーを取り入れることでSUVらしさを強調しています。また、専用の19インチアルミホイールを採用しています。

ボディサイズを全長4,960mm、全幅1,890mm、全高1,495mm、最低地上高145mm*5と、ステーションワゴンに比べ全長と全幅はほぼ変わらず、高い地上高と乗降のしやすさというSUVの特長を持たせながら、ボディサイズを一般的な駐車場に入るサイズにおさめています。

*5: 社内参考値

サイドビューは調和の取れたプロポーションに、メルセデス・ベンツのラグジュアリーモデルに採用されている格納型のドアハンドルを採用しています。キーを持った人が近づくことによって、ボディ面から自動でせり出すこのドアハンドルは、通常時はボディ面に格納されており、シンプルでクリーンな面を際立たせます。万が一の事故の場合などには自動でせり出すことで、従来どおり、強い力で外部から引っ張り、ドアを開けることができる安全性も継承されています。

リアで特徴的な部分として、ツーピース型 LED リアコンビネーションランプが挙げられます。デイデザイン、ナイトデザインのいずれも、スリーポイントドスターのモチーフが採用された特別なデザインとなっています。左右のリアコンビネーションランプは中央でつながったデザインによりワイドなリアエンドを強調しています。リアエッジ部のクロームトリムも同様の効果をもたらすものです。

インテリアデザイン

インテリアは、大きなトリムパネルがダッシュボード中央まで伸びています。外観上独立しているセンターディスプレイは、このトリムのくぼんだ表面上に浮かんでいるように見えます。

オプション設定の「MBUX スーパースクリーン」(助手席一体型ディスプレイ)を搭載している場合、大型ガラス面がセンターから助手席まで広がるデザインとなります。カバーガラスは輪郭がダイナミックにデザインされています。ガラス面の上側の輪郭に沿ってエアアウトレットの細長いノズルバンドが納められており、キャビン中央と左右両脇のエアアウトレットをつないで一体化しています。



センターコンソールはダッシュボード下部まで直線的に伸びて融合しています。前部は、カップホルダーを備えたカバー付きの小物入れが立体形状のトリムに一体化されています。後部には、パッド入りアームレストが設けられており、その下の小物入れには USB ポートがあります。

ドアセンターパネルが曲面を描きながら滑らかに流れ込むドアアームレストは、グラブハンドルやドアを閉めるグリップともなるほか、パワーウィンドウのスイッチが配置されています。もう 1 つのハイライトとなっているのが、宙に浮いているように見えるスイッチパネルで、ここにはドアレバーとパワーシートの操作スイッチが組み込まれています。

シートの座面とバックレストの表面の形状は内側から外側へと優美に流れ、そのレイヤーデザインのためにシートの本体から浮いているように見えます。縦方向のラインが外側の輪郭に沿って伸び、上に向けて幅を増していきます。ここで室内デザイナーが連想したのは、貝殻の有機的な美しさでした。標準設定のレザーARTICO 仕様では、シートは各パネルに精緻な縦方向のうねを形作る仕上げが施されます。レザーエクスクルーシブパッケージ選択時の本革(ナツパレザー)シートは、キルティングとパーフォレーションを施したシートの形をなぞるダイヤモンドステッチとなり室内の高級感を高めます。また、レザーエクスクルーシブパッケージには、シートヒーター機能とシートベンチレーター機能(運転席・助手席)が含まれ、より快適なドライブを楽しむことが可能です。



レザーARTICO 仕様 (欧州仕様)



本革(ナツパレザー)仕様 (欧州仕様)

標準仕様では、大きなインテリアトリムが助手席まで広がり、デジタルインテリアパッケージ選択時には、助手席の前まで MBUX スーパースクリーンが広がります。

オープンポアブラックアッシュウッドインテリアトリム(標準装備)

ブラックの光沢仕上げのアッシュウッドインテリアトリム。アッシュの特徴的な木目がアクセントとなり、濃色でありながら華のある室内空間を演出します。



ブラックピアノラッカーインテリアトリム(デジタルインテリアパッケージ選択時)

ブラックの光沢仕上げのインテリアトリムにMBUXスーパースクリーンが合わされることで、落ち着いた高級感のある室内空間を演出します。



MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)

これまで新世代が投入されるたびにコックピットに革命をもたらしてきたインフォテインメントシステム MBUX。2018 年に発表された MBUX は、ユーザーの体験を重視したものでした。2022 年に登場した第 2 世代では、MBUX ハイパースクリーンが登場しました。そして今回、新型 E クラスにおいて、サードパーティ製のアプリが利用可能になる等メルセデス・ベンツは MBUX 開発における第 3 世代への大きな進化を成し遂げました。

オプション設定の「3Dコックピットディスプレイ」は、内蔵されるドライバー側を向いた2つのカメラによって可能になりました。ドライバーの左右それぞれの視線を追跡する技術により、特殊なメガネを使用せずにドライバーに3D映像を見せることが可能です。ドライバーの視線が動いた場合、この視線追跡技術によりディスプレイに映る映像を連続的に変化させることで、常に3D表示を維持することが可能です。

新世代 MBUX その他の特長:

- 新世代 MBUX では、ディスプレイ上の主要なアイコンの表示方法が変更され、フラットなデザインで、よりシンプルに表示されます。
サードパーティ製のアプリケーションのインストールを可能にするオペレーティングシステムを開発。ドライバーが車載のセルフィー&ビデオカメラ^{*6} を使えば、「Webex」や「Zoom」でビデオ会議をすることができます。^{*7}

^{*6}: オプション設定のデジタルインテリアパッケージに含まれます

^{*7}: お手持ちのスマートフォンでのテザリングが必要です。ビデオ通話を使用するには、車両が停止している必要があります。

- MBUXとの組み合わせで使用する「ルーティン」。ルーティンについてメルセデス・ベンツでは原則として、機能のオートメーションを意味するものと考えています。新型 E クラスは、お客様にご活用いただける標準ルーティンのテンプレートをご用意しています。また、自分でルーティンを作成することも可能です。
- MBUX エンターテインメントパッケージプラス^{*8} を標準装備しています。Mercedes me connect のサービス開始から 1 年間有効です。

^{*8}: エンターテインメントパッケージプラスは有効期間 1 年のデジタルプロダクトです。その内「In-Car アプリバス (TikTok/Webex/Zoom 等のアプリケーションに接続できるサービス) は Mercedes me ID と車両をペアリングしたタイミングで有効期間が開始します。

ゼロレイヤーと MBUX 拡張現実 (AR)

MBUX のディスプレイとオペレーティングシステムは適応型ソフトウェアを備え、数多くのインフォテインメント機能や快適機能、車両機能について個々人に応じた提案を行います。また、ゼロレイヤーデザインを採用することで、複数のサブメニューをスクロールしたり、ボイスコマンドを出したりする必要が減少しました。状況や文脈に応じて、ホーム画面に提案が表示されるので、ドライバーは多くの操作ステップから解放されます。MBUX AR ナビゲーションは、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。これにより、より直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます^{*9}。

^{*9}: オン/オフの切り替えが可能です。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能です。また、オンの場合は、AR ナビゲーションと従来のナビゲーションが同時に表示されます。

Hi, Mercedes: 音声アシスタント

音声アシスタント「Hi, Mercedes」は、Mercedes me アプリ内のオンラインサービスを起動することで、優れた対話と学習機能を発揮します。新採用の Just Talk 機能により、音声操作をキーワードの「Hi, Mercedes」を発話せずに行うことができるようになりました^{*10}。この新機能が起動すると、ディスプレイ上部に赤いマイクのマークが表示され、車両がボイスコマンド待ちの状態となります。

Hi, Mercedes は車両機能の説明も行うもので、例えば乗員が Bluetooth によるスマートフォン接続の方法などを知りたい場合にもお手伝いします。

^{*10}: 車内にドライバー以外の乗員がいない場合に限りです。

MBUX インテリア・アシスタント

オプション設定の MBUX インテリア・アシスタントは、さまざまな室内機能をジェスチャーでコントロールすることで、状況に応じたドライバー支援を実現します。前席乗員の検知を行うのは、ルーファイニング内蔵の赤外線カメラで、オーバーヘッドコントロールパネルに内蔵されています。MBUX インテリア・アシスタントは、乗員の身体の動きや身振り手振りを読み取り、対応する車両機能を起動することで適切にサポートします。このシステムは自然な手の動きや身体の動きを前後関係に応じて、あるいは乗員のリクエストにより解釈します。

音楽のストリーミング配信サービス^{*11*12}

主要音楽ストリーミング配信サービス (Spotify、Amazon Music、Apple Music) を MBUX インフォテインメントシステムに完全に統合した、メルセデス・ベンツの「オンラインミュージック」サービス。接続された音楽配信サービスに登録済みのアカウントへのアクセスを MBUX から行うことができます。これにより、お好みの曲やプレイリストへ簡単にアクセスできるだけでなく、何百万もの曲の中からお気に入りの音楽を検索したり、キュレーターが作成したプレイリストを利用したりすることも可能です。

^{*11}: 本機能は標準装備の MBUX エンターテインメントパッケージプラスに含まれます。

^{*12}: 5G モジュールを使用した通信になります。

パーソナライゼーション

パーソナライゼーション機能では、お客様個人のプロフィールを作成し、運転席のシートメモリーやミラー位置の設定、アンビエントライトのカラー設定、お気に入りのラジオ放送局、その他の機能を保存できるようになっています。

ヘッドユニット上のストアを介してアプリを追加

サードパーティー製のアプリを、お客様の好みに応じてインストールすることが可能になりました。ラインナップも今後さらに拡大が予定されています。

iPhone に対応したデジタルキーを設定^{*13}

デジタルキーを使えば、対応する iPhone をドライバーが携帯している場合、クルマの始動やロック操作が簡単に行えるようになります。キーの共有も可能で、家族や友人と新型 E クラスのデジタルキーを共用することができます。この場合、オーナーキーを設定しているユーザーはさまざまな権限を割り当てることができ、例えば許可する範囲をロック操作のみとしたり、車両の始動も可能としたりすることができます。

デジタルキーを共有するには、AirDrop[®] や iMessage[®] などのメッセージサービスを介して共有相手にキーを送信し、受信者は自分の Apple Wallet にキーを追加します。

共有後にキーを削除する場合も、オーナーは Apple Wallet または MBUX インフォテインメントシステムを使って簡単に操作できます。

^{*13}: デジタルキーの利用には事前にスマートフォンの設定が必要です。対応する機種は、最新の iOS を搭載した iPhone 11 以上 (iPhone SE シリーズを除く)。また、Mercedes me ID と車両のペアリングが必要です。

アプリ^{*14}の選択肢を拡大

アプリのクルマへの導入は、これまで主にユーザーのスマートフォンからインフォテインメントシステムへミラーリングすることで行われていました。Apple CarPlay や Android Auto がその例で、クルマの走行中に携帯端末の一部機能をディスプレイ上で使用することができます。また、サードパーティー製アプリのインストールを可能^{*15}にする新たなオペレーティングシステムがメルセデス・ベンツのソフトウェアチームによって開発されました。これに加え、新しいソフトウェアアーキテクチャーの採用によって、今後はアプリのクルマへの導入をこれまでよりはるかに速やかに行えるようになります。

アプリのラインアップ^{*16} は今後、徐々に拡大を予定しております。これにより、大幅なパーソナライゼーションが可能になりました。

2024年3月時点でラインアップされるサードパーティ製アプリには以下のようなものがあります。

- 「TikTok」(SNS)
- 「Angry Birds」(モバイルゲーム)
- 「Webex by Cisco」(ビデオ会議)
- 「Zoom」(ビデオ会議)
- 「Vivaldi」(Web ブラウザー)
- 「Pocket Casts」(ポッドキャスト)

*14: 本機能は標準装備の MBUX エンターテインメントパッケージプラスに含まれます。

*15: お手持ちのスマートフォンでのテザリングが必要です。

*16: パソコンや携帯電話でご利用可能なアプリと一部機能が異なる場合があります。

ビデオストリーミングにも対応^{*17*18}

新型 E クラスは車内で YouTube のビデオストリーミングをお楽しみ頂くことが可能です。全てのディスプレイで視聴できますが、走行中はセンターディスプレイでは表示されません。

*17: 本機能は標準装備の MBUX エンターテインメントパッケージプラスに含まれます。

*18: お手持ちのスマートフォンでのテザリングが必要です。

室内カメラ

ダッシュボードの上には、新採用のセルフィー&ビデオカメラ(オプション設定)が設置されています。これにより、停車した状態であれば、ドライバーも Webex などを介してオンラインのビデオ会議に参加したり、自分の写真や動画を撮影したりすることができます。また、撮影した映像や画像は USB フラッシュドライブに保存することができます。カメラは画角が広いことから、前席のサイドウィンドウなどを含め、室内のさまざまな部分をとらえることができます。これにより、まったく新しい視点で独特な画像や動画を撮影することが可能^{*19}になりました。

*19: 室内カメラは停車中のみ利用可能。

Burmester® 4D サラウンドサウンドシステムを標準装備

Dolby Atmos^{®*20} にも対応した、合計 17 個のスピーカー、15 チャンネル、合計 730W の出力による「Burmester®4D サラウンドサウンドシステム」は、3 次元の豊かな音響にさらにもう 1 つ次元を加えた 4D サウンドをお届けします。これは、前席シートに振動を伝達するエキサイターを採用し、シートの振動を通じて音楽を表現します。

*20: Apple Music をオンラインミュージックで再生時に対応。

日常走行での利便性がさらに向上: ルーティン^{*21}

メルセデス・ベンツでは、乗る人がよく使う快適システムを覚えられるクルマを実現するため、学習機能を活用する取り組みを進めています。目標は、状況が同じ場合に車両がそれらの機能を実行すること。その結果として実現するのがパーソナライゼーションです。メルセデス・ベンツではこの革新技术の先駆けとして「ルーティン」を開発しました。

標準ルーティンのテンプレートをご用意しています。また、自分でルーティンを作成することも可能で、その場合、乗員は複数の機能や条件をリンクさせることができます。例えば、「車内温度が 12 度以下なら、シートヒーターのスイッチを入れ、アンビエントライトをウォームオレンジに設定する」などのリンク付けが行えるようになります。

*21: Mercedes me ID と車両のペアリングが必要です。

デジタルベントコントロール

オプション設定のクライメートコントロール(前席左右後席左右独立調整)では、デジタルベントコントロールが装着されます。これは快適性を強化するもので、フロントのエアアウトレットを望ましい送風シナリオに合わせて車両が調整します。この機能はユーザープロフィールなどにより各シートに対して調整できますが、これまでどおり手動でエアアウトレットの送風方向を変えることもできます。

デジタルライト(ウルトラハイビーム付き)を標準装備

左右のヘッドライトのデジタルライトは、それぞれ照明モジュールを備えています。このモジュールは 100 万個以上の微小な鏡により光を屈折させることで照射方向を定めます。このため、片側のヘッドライトあたりの解像度は 100 万画素以上となりますが、鏡が占める面積は親指の爪ほどの大きさです。この革新的なヘッドライトは、凹面レンズ「DIGITAL LIGHT」のレタリングなどデザイン性も高められています。

ヘッドライト片側で 100 万以上のエリアに分割可能な光を照射するため、きわめて正確な配光が可能となりました。これにより、ハイビームアシストが対向車や道路標識に光が当たらないように調整する場合の精度が、従来の 84 画素の光に比べて精度が大きく高まっており、フォグライトモードやハイウェイライト、シティライトなどの照明が最大限効果的なものとなりました。

さらに、アドバンスドパッケージ装着時には「路面描画機能による車線逸脱警告」が追加されます。これは、夜間走行時に車線を逸脱しそうになった場合に、ヘッドライトが車両前方の路面に絵(矢印)を投射することでドライバーに警告をする^{*22} ものです。

*22: オートハイビームとステアリングアシストが起動し、速度が 60km/h 以上の場合

パワートレイン

エンジン単体で 197PS (145kW)、440N・m を発生する 2.0 リッターのクリーンディーゼル直列 4 気筒ターボエンジン「OM654M」を搭載しています。

エンジンとトランスミッションの間に配置される電気モーターの ISG によって、短時間、最大で 23PS (17kW)、205N・m のブーストが可能で、高トルク、省燃費が売りのクリーンディーゼルエンジンに電気による緻密なサポートが組み合わさることで、さらにスムーズな加速感と、燃費の低減に寄与します。

なお、トランスミッションは「9G-TRONICオートマチックトランスミッション」を採用しています。1速から9速までの変速比幅が広いことから、エンジン回転数が大幅に低減され、優れたエネルギー効率と快適性を実現しています。

AIRMATIC サスペンション

連続可変ダンピングシステム ADS+とエアサスペンションを組み合わせた AIRMATIC を標準装備し、走行時に高い快適性をご提供いたします。

AIRMATICによるセルフレベルリング機構は、乗員や荷物の重さに関係なく地上高を一定に保つものですが、必要に応じて変化もさせます。

トランスペアレントボンネット

E 220 d オールテレインでは、360°カメラシステムを使い「トランスペアレントボンネット」機能が使用できます。センターディスプレイに車両のフロント部分下方の路面の映像(フロントタイヤとその操舵方向を含む)を仮想的に映し出す機能で、進路上にある大きな石や深い窪みなどの障害をいち早く確認することができます。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「安心・安全」と「快適」の側面からお客様のカーライフをサポートします。

「新車購入時初回有効化から3年間無料、以降7年間自動で継続されるサービス」

- 24時間緊急通報サービス^{*23}: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが必要に応じて消防に連絡します。

*23: 別途ボッシュサービスソリューションズとの契約が必要です。

- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、車内にあるmeボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の総走行距離、走行可能距離等の状態をアプリ等で確認できます。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

「新車購入時初回有効化から3年間無料のサービス」(有料で継続可)

- リモートウインドウ & サンルーフコントロール^{*24}: スマートフォンの操作でウインドウやスライディングルーフの開閉ができます。
- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- オフストリートパーキング(オンライン駐車場情報): 駐車場の場所だけではなく空車情報^{*25}もナビゲーション地図上に表示します。

*24: リモートサンルーフコントロールはオプション装備のパノラミックスライディングルーフ装着車のみご利用可能。

*25: 全ての駐車場について表示するものではなく、情報提供されている駐車場に限ります。

ラインアップ

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

セダン(MP:202401)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*26} ()内は消費税抜き車両本体価格
E 200 アバンギャルド (ISG 搭載モデル) ^{*27}	右	2.0L、直 4 直噴ターボ	¥8,940,000 (¥8,127,273)
E 220 d アバンギャルド (ISG 搭載モデル) ^{*27}		2.0L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	¥9,210,000 (¥8,372,728)
E 300 エクスクルーシブ (ISG 搭載モデル) ^{*27}		2.0L、直 4 直噴ターボ	¥11,260,000 (¥10,236,364)
E 350 e スポーツ Edition Star		2.0L、直 4 直噴ターボ +プラグイン ハイブリッド	¥9,880,000 (¥8,981,819)

ステーションワゴン(MP:202401)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*26} ()内は消費税抜き車両本体価格
E 200 ステーションワゴン アバンギャルド (ISG 搭載モデル) ^{*27}	右	2.0L、直 4 直噴ターボ	¥9,280,000 (¥8,436,364)
E 220 d ステーションワゴン アバンギャルド (ISG 搭載モデル) ^{*27}		2.0L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	¥9,550,000 (¥8,681,819)
E 300 ステーションワゴン エクスクルーシブ (ISG 搭載モデル) ^{*27}		2.0L、直 4 直噴ターボ	¥11,390,000 (¥10,354,546)
E 220 d 4MATIC オールテレイン (ISG 搭載モデル)^{*27}		2.0L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	¥10,980,000 (¥9,981,819)

*26: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

*27: ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

なお、E 220 d オールテレインには、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新^{*28}が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス^{*29}」をご用意しています。

*28: 地図データの更新には Mercedes me connect サービスのアクティベーションが必要となります。

*29: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。

資源保全型原材料

新型 E クラスには、部分的に資源節約型原材料(再生材料および再生可能原料)を使用しているコンポーネントが数多く採用されています。また、シート内部のウレタンフォームには今回初めて、「マスバランス方式」により認証済の再生原料が使用されています。その特性は原油から生産される原料と変わりません。このようにして、製品の品質を維持しながら、必要な化石資源の量を減らすことが可能になりました。



メルセデス・ベンツ E 220 d 4MATIC オールテレイン (ISG 搭載モデル)

E 220 d オールテレインに搭載される安全運転支援システムの詳細説明

「インテリジェントドライブ」

進化した「レーダーセーフティパッケージ」

- ・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック
- ・アクティブステアリングアシスト

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路や一般道などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、停止している先行車の検知も可能です。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

再発進機能は、高速道路/での渋滞時に停止した際、30 秒以内^{*30}に先行車が発進した場合、ドライバーがアクセルを踏まなくても再発進します（一般道では3 秒以内^{*30}）。30 秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシストします。

*30: 停止後の再発進までの時間は周囲の状況や走行状況により変わる場合があります。

- ・渋滞時緊急ブレーキ機能

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座にブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座にブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを作動させる機能も搭載しています。

- ・アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路を走行時^{*31}にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると 3 秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に車線を変更します。

*31: 一般道での利用不可

- ・アクティブエマージェンシーストップアシスト

ドライバーが周囲の道路状況に反応しなくなってから一定の時間が経過していると判断した場合、警告灯と音によって警告し、それでもドライバーによるステアリング、アクセル/ブレーキなどの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後はパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

・アクティブブレーキアシスト

(歩行者/飛び出し/右折時対向車検知機能付)

先行車、飛び出し車両、歩行者などと衝突のおそれがあるかどうかを確認。衝突が近いと判断すると、表示および音でドライバーに警告します。ブレーキペダルの踏み込みが弱すぎる場合は、状況に応じてブレーキ圧を高めて支援するほか、ドライバーが対処しない場合は緊急ブレーキを起動します。また、交差点や曲がり角での右左折の際に、対向、飛び出し、巻き込みなどにより、自動車、自転車及び歩行者と衝突する危険がある場合、警告やブレーキが作動します*32。

*32: 右折の場合、センターライン(実線、破線、白色、黄色いずれでも可)のある道路で、ドライバーによる進路変更の意思表示があり(ウインカー操作)、かつ車線境界を越えずに車両を停止させることが可能な場合に作動します。

・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウィンドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

・アクティブブラインドスポットアシスト(降車時警告機能付)

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。さらに、30km/h以上で走行している際に側面衝突の危険がある時には、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかったときなど、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。また、停車時にドアを開けようとした際、後方から障害物が迫っている場合の警告機能を採用しており、時速 2km 以上で後方から歩行者や自転車、自動車などが近づいている場合、ドアミラー外側にある警告表示灯が赤く点灯します。

*33: エンジンを停止した場合、エンジン停止から 3 分間作動します。

*34: 対象物と自車の速度差が大きいなど、状況によって作動しない場合があります。

ドライバーを支援するその他のシステム

・アクティブパーキングアシスト

アクティブパーキングアシストはタッチスクリーンを介して直感的に起動プロセスが可能になりました。

・ドライブアウェイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも 2km/h 以上の速度が出ず、警告音により障害物が近くにあることをドライバーに知らせることで、誤操作の可能性のあることを警告します。

*35: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

*36: 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

*37: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アテンションアシスト

ドライバーが眠気を催したり、注意力散漫になったりする場合に現れる典型的な兆候を検知し、休息をとるよう促す警告メッセージを表示します。

※本プレスリリースに記載されている仕様およびメーカー希望小売価格は、発行日現在の内容です。